

みんなで子育て No.5

バックナンバーは
こちらから▶



環境エネルギー生活部 県民生活課
家庭教育推進専門職 : 辻
Tel 058-272-8206



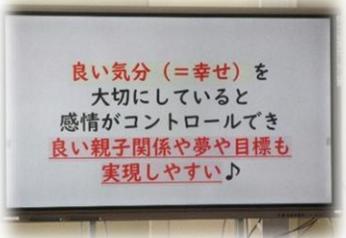
岐阜地区家庭教育推進会議の折に、中学生との交流の時間がありました。家族で大切にしていることを尋ねたところ、ある生徒が「あいさつ」と話しました。両親と兄妹の5人家族で、兄が思春期に入り、この時期特有の言動がみられるようになった時、父親の呼びかけで家族会議が開かれたそうです。「親しき仲にも礼儀あり」家族であっても「あいさつ」は大切にしたいという提案があり、それを守っているそうです。また、感謝の気持ち、相手を尊重する気持ちも込めて、地域の方や仲間に対しての「あいさつ」も大切にしているという話をしてくれました。素敵な家族の在り方、生徒の思いを知ることができ有意義な時間となりました。

瑞穂市立生津小学校

「アンガーマネージメント」講座

6月25日(水)

講師 : 選択理論心理士 廣瀬 貴英 氏



選択理論心理学は、アメリカの精神科医ウィリアム・グラッサー博士が提唱した心理学です。

「感情のコントロールはスキル（技術）なので、学んで実践すれば必ずできます。」と廣瀬氏はおっしゃいました。そして、

1. 自分が満たされているとイラッとを選択しにくい

2. イラッととしても、その後の行動は選択できる の2点について、個々で考える時間、グループで交流する時間を設けながら、お話されました。

イライラは、「変えられないもの、コントロールできないものを一生懸命コントロールしようとする」ために起きる感情で、まずは、変えられるものと変えられないものをしっかりと見分けることが必要であり、「変えられるものを変えて、幸せになろう」とおっしゃっていました。そして、人は5つの「しあわせ（基本的欲求）」を求めて行動していることを教えていただきました。

イライラは、「変えられないもの、コントロールできないものを一生懸命コントロールしようとする」ために起きる感情で、まずは、変えられるものと変えられないものをしっかりと見分けることが必要であり、「変えられるものを変えて、幸せになろう」とおっしゃっていました。そして、人は5つの「しあわせ（基本的欲求）」を求めて行動していることを教えていただきました。

| 基本的欲求 | 具体的な思いや欲求 |
|----------|----------------------------|
| 愛・所属の欲求 | 愛されたい 仲間の一員でありたい |
| 力（承認）の欲求 | 認められたい 達成したい 人の役にたちたい 勝ちたい |
| 自由の欲求 | 自分で選びたい、強制されたくない |
| 楽しみの欲求 | 好きなことを楽しみたい 新しいことを知りたい（学習） |
| 生存の欲求 | 食べたい 飲みたい 寝たい 安全、安定、安心 |

自分や家族の欲求の強弱を知り、強い欲求を満たすように行動することで、幸せを手に入れ、良い家族関係を築きやすくなるそうです。また、「愛・所属の欲求」が満たされることで、他の4つの欲求についても満たされやすくなるそうです。

怒りを覚えたときには、自分が選択できる「思考（どうとらえる）」と「行動（どんな言葉を口にし、どんな態度をとる）」について、自分の幸せにつながるものを選択できるようになることが大切であることを学ぶことができました。

保護者の声

- 交流を通して、自分と同じような思いや悩みをもってみえる保護者の方が他にもいることがわかり、ほっとしました。講師の先生の身近にある具体的な例を使っただけのお話はとても分かり易かったです。自分を優先してもいいんだということが分かって、気持ちが楽になりました。子どもの言動を否定せず、プラスの言葉をかけたいと思います。
- 兄弟げんかなど、何度言っても変わらずイライラしてしまうことがあります。子どももどうしてよいかかわからないから同じこと繰り返してしまうのかも… 理由を聞いて、どうすべきかを話し合ってみたいと思います。
- 自分が満たされていないと、そのことが周りの人や子どもに（悪）影響を及ぼしてしまうことに気付くことができました。相手の気持ちを確認し尊重できるように努めたいと思いました。

講師： 県民生活課 生涯学習係(家庭教育担当)

親子で一緒に考えながら作品づくりを通して、わが子の成長を確認したり、良い点を見つけたりしていただき、それを言葉でしっかりと子どもに伝えることで、親子の信頼を深めてもらおうと考え、学級を実施されました。

作品を家に持ち帰ったあとは、居間に飾ったり、鍋敷き等として使ったりすることで、子どもの自己有用感が高まるようにしてほしいとのお話がありました。

丸形(大・小)、正方形、六角形、ハート形、リーフ型、クローバー形、玉石形のタイルを自由に配置しデザインします。速乾性の接着剤で枠付きの木製の板に貼り付けた後、モルタルをすき間に塗り込んで乾燥させます。1日乾かして、全体を磨いて完成です。



保護者の声

- ・子どもの話は、最後まで聞くようにしています。今日は、タイルを置いては戻してと、試行錯誤しているところを見て、成長したなあと思いました。作品は玄関かリビングに飾ろうと思います。
- ・「何をしたい?」「どっちがいい?」等、子どもの意思を確認するようにしています。多治見のタイルアートをやってみたかったので、今日は体験できてよかったです。補助なしで、自分で考えてレイアウトを作っていたので、がんばっているなあと感じました。兄弟で個性的な作品に仕上がったので、並べて飾ろうと思います。
- ・「子どもが自分で考えて決める」ということを大切にしています。自分の気持ちを伝えられるように日々コミュニケーションをとっています。好きなデザインを自分で決めていました。「ママどうしよう…」と言いながらも、自分で考えて最後まで作ることができたのでよかったです。

NPO法人キッズスクエア瑞穂 サポーター養成講座

「子どもの心と体の発達と保育者の関わり」 7月7日

講師： 岐阜聖徳学園大学教育学部教授 西川 正晃 氏



NPO法人キッズスクエア瑞穂は、瑞穂市の家庭教育支援チームです。瑞穂市・本巣市の両市からファミリーサポートセンター業務委託を受けており、今回はサポートスタッフの研修事業を取材させていただきました。

講師の西川氏は、幼児教育の専門家で、10年近く当講座の講師を務められています。この日は、①幼児期の学び ②共主体 ③非認知能力 の3点についてお話されました。

乳幼児にとっては、「遊び」が「学び」であり、「子どもがわくわくしながら、何度も繰り返す」姿は、まさに学んでいる姿だそうです。大人が「いたずら」と見間違え、「ダメ」と止めてしまうことがないようにとのお話がありました。また、幼児教育は小学校教育の前倒しではないことを確認されました。

「共主体」とは、子どもの主体と大人の主体がバランスよく共存して、共に学び合う関係にあることだと説明がありました。子育ては相互的な活動であり、子どもの主体性を育てるためには、子どもと大人が対等な立場で一緒になって活動することを通して、知識や技能の面で優れている大人が、子どもの気付きや学びが高まるように関わるのが重要であるとおっしゃっていました。

「非認知能力」は、学びに向かっているとする力であり、この力を高めることが、「認知能力」を高めることにつながるようです。幼児期に「非認知能力」を身に付けることが、大人になってからの生活に大きな差を生じさせるという研究結果を示されながら、幼児期は「非認知能力」を育む時期であり、「啾啄同時(そったくどうじ)」の保育観に努めてほしいと話され、講話をまとめられました。

親が遊ぶと、子どもの遊び(学び)はさらに充実する!
「大人も遊びの主人公!」

・一緒に遊ぶと「指示・命令」がなくなる
遊びをかもしくしようよと、真剣にやる
子どもの「ココの発達」が豊かになる

・「指示・命令」ではなく「刺激・提案」になる
対話を通して、子どもとの関係がつけられる
子どもの世界観が見えてくる

保育者のかかわり

●遊びの保育の実現
幼児期の終わりまでに育ってほしい姿が豊かに
発揮できる保育。

自分で考える・行動できる、他人を思いやる、みんなで協力する など

●遊びの主体者としての保護者の存在
保育者も主体性を発揮し、子どもとともに保育を
紡いでいく対話的關係

保護者が答えを出すのではなく、子どもと一緒に考えつづけていく保育

非認知能力とは、意欲・意志力、忍耐力、協調性、自制心、自己肯定感、共感、思いやり、自信などテストでは測れない能力です。

講師：NTTドコモ講師 (WEB研修)



岐南中学校では現在、生成AIの授業活用について研究をされています。この日はNTTドコモの協力を得て、午前中に1年生が「上手な情報活動とリスクを考えよう スタンダード編」を、2・3年生が「同アドバンス編」の研修を行いました。これらに合わせ、午後には保護者向けの研修会を実施しました。研修内容は、次の4項目です。

ネットの4つの特性

- ① 記録性…1度投稿されると、なかなか削除できない
- ② 特定性…情報が組み合わさると住所や生活情報が特定される
- ③ 流出性…情報は簡単にコピーでき、情報が洩れることがある
- ④ 拡散性…投稿された写真はすぐ広がり、沢山の人が見ることができる

- ① スマホやネットの不安や悩みを確認する
- ② スマホやネットトラブルの知識を身につける
- ③ 家庭での使用方法を考えよう (1) 使い過ぎ編 (2) コミュニケーション編
- ④ フィルタリングの知識を身につける

ルールを作る上で注意したいのが、親子で認識のズレが生じるような曖昧な「見すぎ」「遅くまで」「高額な」「マナーを守る」等の言葉を使わないことだそうです。そしてルールを守らせるためには、行動科学に沿った言葉がけをすることが大切であり、「行動を細かくして伝える」「振り返りを促す」「自分で決めて宣言させる」「損得を意識させる」「環境を工夫する」とよいことを教えていただきました。

参加者の声

- ・今年でこのような研修に参加するのは3回目ですが、夏休み前にこのような学びの場を作っていたいて、とてもありがたいです。19時～6時は使わないという制限を設けていましたが、子どもの都合もあり、ルールの見直しが必要だなあと考えています。今日を機会に、親子でよく話し合ってみたいと思います。
- ・とにかくわからないことばかりなのですが、筋道を立ててお話しいただいたので、ちょっとクリアになりました。親子で数カ月かけてルール作りをしてきて、昨日契約をしてきたところですので、今日学んだことを是非活かしたいです。

講師：日々のパン講師 石原 恵里佳 氏

「簡単かつ美味しいパン作りを教えてください。パン作りを通して、いつもの食卓がより楽しくなり、親子で作りながら色々話をしたり、出来立てを一緒に食べて頂けたら良いな…」と思い企画しました。当日はご参加頂いた保護者同士楽しく交流できる場にしたいと考えております。皆様のご参加をお待ちしております。」(案内文抜粋)

このような願いのもと、実施された家庭教育学級。前半の1時間で、成型、焼き上げ、生地作り、試食を行い、後半の30分間は、グループ内での子育て交流を茶話会形式で行いました。

自由な発想で成形された生地は、トースター1200w7分で焼き上げました(右写真)。「美味しい。モチモチでけっこう歯ごたえがあります。」との声があり、ピザ生地のような食感でした。

生地作りもビニール袋の中で行うため容易で、初めての子どもでも上手く仕上げることができそうでした。短時間、簡単、美味しいの三拍子が揃ったパン作り、同じ体験した者同士の交流会は、どのグループも笑顔の花が咲いていました。



参加者の声

- ・パン作りは、難しいというイメージがあったのですが、簡単でとても美味しくて驚きました。そして、道具などの洗い物がないという点がとてもありがたいです。粘土細工のようで、子どもたちが楽しみながらパン作りができそうです。
- ・短時間で簡単に作れたので、子どもとも一緒に作りたいと思います。今日のような簡単にできる調理実習の授業がもっとあってもよいのではと思います。
- ・おいしいお菓子と共に他の親さんと話すことができよかったです。中学生になり他の保護者の方と話す機会が少なくなってしまったので、とてもよい時間となりました。
- ・はじめての方とお話が盛り上がるか不安でしたが、とても楽しく交流ができよかったです。

「百日咳」「麻疹（はしか）」が流行しています 感染症にご注意ください！

しょうがっこうにゆうがくじゅんび

小学校入学準備に

2回目の麻疹・風疹ワクチンを！

2006年4月1日以降、定期の予防接種としては麻疹・風疹混合生ワクチン(measles-rubella:MRワクチン)の接種が開始となり、同年6月2日から右記の年齢での2回接種となりました。第1期、第2期を過ぎてしまうと



定期の予防接種として受けられなくなってしまう。

小学校の入学前に接種がすすんでいるかどうかを確認しましょう。

2019年4月2日～2020年4月1日

生まれのお子さまは、2025年度に第2期の定期接種を受けます。

第2期でまだ麻疹と風疹の予防接種をそれぞれ2回ずつ受けていないお子さまはかかりつけ医とよく相談し、

2026年3月31日までに受けましょう。

接種医療機関に関しては、お住まいの市町村(特別区)にお尋ねください。

対象者 第1期 1歳児

第2期 5～7歳未満で小学校就学前の1年間(就学前年度4/1～3/31)の者

接種方法 麻疹および風疹の予防接種は以下の方法による2回接種



*同じ「期」内で麻疹ワクチンまたは風疹ワクチンのいずれか一方を受けたお子様あるいは麻疹ワクチンと風疹ワクチンをそれぞれ別々に接種することを希望するお子様。

国立感染症研究所感染症疫学センターのリーフレットより

予防接種には、「個人を守る」と「社会を守る」の2つの役割があります。予防(ワクチン)接種することで、あらかじめ病原体(ウイルスや細菌)に対する抵抗力(免疫)を作り出して病気になりにくくします。そうすることで、**感染拡大を防ぎ、重症化リスクと死亡リスクを下げています。**

予防接種には、法律に基づいて市町村が主体となって実施する「定期接種」と、希望者が各自で受ける「任意接種」があります。定期接種は公費(一部で自己負担あり)でまかなわれ、任意接種は自己負担となります。

来春、小学校へ入学する子どもたちは、令和8年3月末日までが2回目の麻疹と風疹の定期接種の期限になっていますので、案内が届いたら、忘れないうちに接種しましょう。

日本では2007年に、麻疹が全国的に流行しました。罹患者の多くは、ワクチンを接種していない者と1回しか接種していない10～20歳代の若者でした。翌年からの5年間、中学1年生と高校3年生相当の年齢の者に2回目のワクチン接種の機会を設けたことで、幸いなことに、2009年以降の10～20代の患者数は減少しました。

麻疹は感染力が非常に強く、空気感染もするため、手洗いとマスク着用のみでは、予防することができません。最も有効な予防法がワクチン接種となります。

| チェック | ワクチン名 | 標準的な接種年齢 | 病名 |
|------|--------------|----------|----------------------------------|
| | ロタウイルスワクチン | 生後2か月～ | ロタウイルス |
| | 5種混合ワクチン | 生後2か月～ | ジフテリア 破傷風 百日咳 ポリオ Hib(ヒブ) 感染症 |
| | 子どもの肺炎球菌ワクチン | 生後2か月～ | 子どもの肺炎球菌感染症 |
| | B型肝炎ワクチン | 生後2か月～ | B型肝炎 |
| | BCBワクチン | 生後5か月～ | 結核 |
| | MRワクチン | 1歳～、5歳～ | 麻疹(はしか) 風疹 |
| | 水痘ワクチン | 1歳～ | 水痘(みずぼうそう) |
| | 日本脳炎ワクチン | 3歳～、9歳～ | 日本脳炎 |
| | DTワクチン | 11歳 | ジフテリア 破傷風 |
| | HPVワクチン | 12歳～ | ヒトパピローマウイルス感染症 |

子どもの定期接種ワクチンを左表に示しましたので、一度チェックをしてみてください。

